

国宝

=観てきたよ③=

先日「おさん 国宝
またまた女にもおもしろいよ〜♪」と言われて。妻といっしょにGo  映画館へ

日本伝統である歌舞伎の世界をテーマにしたお話し
任侠の親分の子だが芸(女形)に才能のある。

喜久雄と歌舞伎の役者曹司であり血筋で将来を
約束されている俊介。の青春時代から国宝に



なるまでの物語を描いた作品。師匠である半二郎や万菊、喜久雄と俊介のそれぞれの
対比や嫉妬も美しく描かれていて、洋画や邦画でもみたことない作りで、泣かせようとするような
演出ではないのに自然と涙が... ツーとこ 心にビシビシと伝わってくる。

日本独特の感性を大切にしながら進行されていて観終わった後には何か凄いのをも
観たような... 魂が揺さぶられる映画でした。

日本に対するリスペクトも感じられる価値ありの作品でした!!

観た人
それぞれの思いが湧き出ると思います。

おすすめ
てます〜♡

二枚言であっ!!

本当の核心は無意識の中にあるのか。

言葉にする、やがみか出ると思います。

だからある意味では、言葉もあるのかめんどくさい。
というところがあるんです。

by 坂東玉三郎

よっちゃん だより

2025.7月号 Vol.186

いつも
お楽しみに
読んでくださる
みなさん
ありがとうございます



ヨチマン

エネルギー



17年ほど前にランチェスター戦略を学ぶ勉強会があり、その時の
経営者たちの共通言語の一つに“エネルギー”ということばがあり
ました。
(他にもいろいろとありましたが)

「よっちゃんエネルギー漏れるよ...大丈夫?」

「よあけさん良いエネルギー出てるね〜♪」

「エネルギーの高い人と低い人は合わないからね〜」などなど

エネルギーとは言葉ではキレイに正論を言っても、エネルギーが高い人
にはいろいろとばれていります。不思議です。

エネルギーの高い人にはそれか解るようになっていて、残念ですがエネルギー
低い人には解らないみたいなんです。エネルギーが異なる人同士が
長い間、いっしょにいられないのもわかりますね。

“伸ばし合っている人たち” “悪いばかり言っている人たち” これも、

エネルギーで結ばれているようです。

みなさん、どのエネルギーで生きていますか?

他人は変えられませんか

自分を変えます。素晴らしい人生を!!

※波動にもよく言われていますよ